

# 中期経営計画(2006～2008) - STEP FORWARD 2008 -

東邦テナックス株式会社  
2006年2月28日

## 目次

- . TP05 (2003～2005年) の総括
  - 1 . 計数目標の達成状況
  - 2 . 重点課題の達成状況
  - 3 . 残された課題及び新規課題
- . STEP FORWARD 2008 (2006～2008年)
  - 1 . 経営基本方針
  - 2 . 中期計数目標
  - 3 . 炭素繊維環境認識
  - 4 . 重要課題と主要アクションプラン
  - 5 . セグメント別計数目標
  - 6 . 投入資源

. TP05(2003～2005年)総括

TEIJIN

1. 計数目標の達成状況

1) 連結数値目標

(単位：億円)

	中期計画				実績		見通し		差異	
	03	04	05	3年間累計	03	04	05	3年間累計	最終年度	3年間累計
売上高	380	420	460	1,260	343	401	430	1,174	30	86
営業利益	7	15	29	51	2	23	39	64	10	13
税後利益	0	6	19	25	10	19	44	73	63	98
営業利益ROA(%)	1.9	3.9	8.0	-	0.7	6.4	10.2	-	2.2	-

. TP05(2003～2005年)総括

TEIJIN

1. 計数目標の達成状況

2) セグメント別目標

(単位：億円)

	売上高				営業利益			
	実績02	中期05	見通し05	差異	実績02	中期05	見通し05	差異
炭素繊維	150	240	280	40	10	20	39	19
テキスタイル	88	120	68	52	4	3	5	8
その他	69	100	82	18	5	6	5	1
合計	307	460	430	30	9	29	39	10

## 2. 重点課題の達成状況

### 炭素繊維事業は利益ある成長、その他事業は安定収益確保

重点戦略・課題	課題の実施状況
<p>&lt;炭素繊維事業&gt; 品質・価格競争力の向上による世界一流レベルの地位の堅持 北米生産拠点確保、日欧米供給体制強化 コンボジット事業の拡大、第2の中核事業へ得意分野(耐炭繊維「パイロメックス」事業)の拡大・強化 (*中期期間中に設定した重要課題) 将来の需要拡大への的確な対応</p> <p>&lt;テキスタイル事業&gt; 開発型付加価値素材へのシフトによる収益の向上</p> <p>&lt;機械・エンジニアリング・サービス事業&gt; 得意技術、得意製品を核とした安定収益の維持</p>	<p>&lt;炭素繊維事業&gt; 生産性向上(約30%)により、需要拡大への対応、コストダウンの実現 M&amp;Aによる北米生産拠点の確保 売上規模倍増実現も、中核事業には至らず 北米生産拠点確保により供給力増強</p> <p>TTE社 1系列増設着手</p> <p>&lt;テキスタイル事業&gt; 想定以上の海外製品との競争激化により、収益の向上至らず</p> <p>&lt;機械・エンジニアリング・サービス事業&gt; ウレタン発泡装置等の得意分野注力により、安定収益確保実現するも、環境関連ビジネスは伸張せず</p>

## 3. 残された課題及び新規課題

### 高成長する炭素繊維市場への的確な対応による収益の拡大

#### 残された課題

テキスタイル事業再構築 適正規模による早期黒字化達成  
過去からの負の遺産(- 特別損失)の完全解消、及び毀損した株主資本の早期回復

. STEP FORWARD 2008 (2006 ~ 2008年)



1. 経営基本方針: 基盤構築戦略から成長戦略へ

炭素繊維事業	: Profitable Growth への明確なシフト 収益力の一段のスケールアップ、積極的資源投入
テキスタイル事業	: 適正規模による黒字化、黒字体質早期達成
機械・エンジニアリング・サービス事業	: 安定収益体質強化、収益力向上

2. 中期計数目標

(単位: 億円)

	05見通し	06	07	08	平均成長率
売上高	430	460	520	600	12%
営業利益	39	42	55	70	
当期利益	44	22	35	50	
営業利益ROA(%)	10.2	>9	>10	>12	
総資産	400	500	570	580	

株主資本比率(%)	6	9	14	22
(前提条件) 為替レート(円/ドル)	111	110	105	105



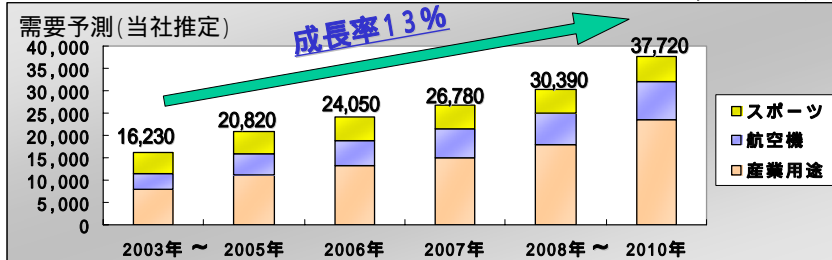
7

. STEP FORWARD 2008 (2006 ~ 2008年)



3. 炭素繊維環境認識

(単位: トン/年)



(単位: トン/年)

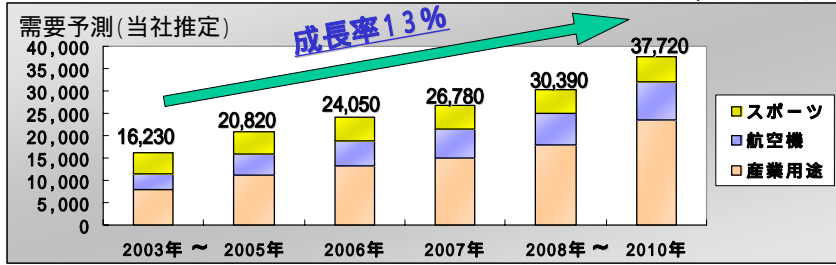
	2003	2005	2006	2007	2008	2010	平均成長率(%)
産業用途	7,980	11,300	13,310	14,970	17,910	23,470	17
航空機	3,500	4,620	5,630	6,550	7,050	8,530	14
スポーツ	4,750	4,900	5,110	5,260	5,430	5,720	3
計	16,230	20,820	24,050	26,780	30,390	37,720	13



8

3. 炭素繊維環境認識

(単位:トン/年)



- ・需要は年率13%で高成長し、2008年には30千トンを超える。
- ・航空機用途は安定成長 新機種プロジェクトの本格化、新機種のCFコンポジット化の進展
- ・産業用途は急成長 風力発電、圧力容器、自動車関連

高機能・高技術 軽量化・省エネルギー・環境保全

4. 重要課題と主要アクションプラン

重要課題	<p>&lt;炭素繊維事業&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>品質・価格競争力の世界一流レベルの地位堅持</li> <li>需要増への的確な対応 責任ある供給体制 シェア確保</li> <li>グローバルオペレーション強化</li> <li>コンポジット事業拡大</li> <li>新規用途開発</li> <li>新技術開発によるプロセス革新</li> </ol>	<p>&lt;テキスタイル事業&gt;</p> <p>黒字化早期達成、安定黒字体質 早期構築</p>
		<p>&lt;機械・エンジニアリング・サービス事業&gt;</p> <p>安定黒字体質強化、収益拡大</p>
主要アクションプラン	<p>&lt;炭素繊維事業&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>既存設備強化、生産性向上</li> <li>新規設備増設 TTE社新ライン増設('06年9月稼動) 新CF設備'08年度立上げ</li> <li>重点用途(航空機用途・産業用途)拡大</li> <li>量産型コンポジット事業の推進</li> <li>R &amp; D強化、加速</li> </ol>	<p>&lt;テキスタイル事業&gt;</p> <p>生産・販売適正規模化、独自商品拡大</p>
		<p>&lt;機械・エンジニアリング・サービス事業&gt;</p> <p>得意分野、得意製品への資源集中</p>

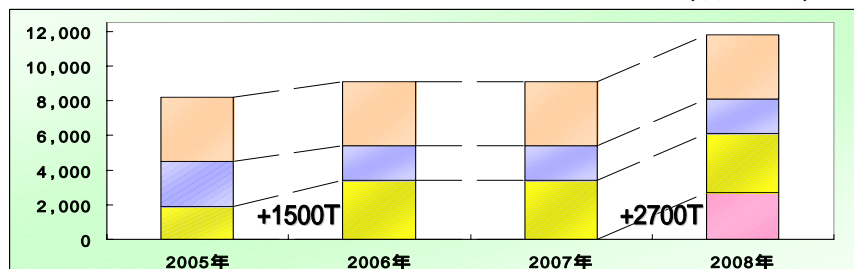
. STEP FORWARD 2008 (2006 ~ 2008年)

TEIJIN

4. 重要課題と主要アクションプラン

< 当社炭素繊維供給能力 > (公称能力)

(単位 トン/年)



	(単位 トン/年)			
	2005	2006	2007	2008
日本	3,700	3,700	3,700	3,700
米国	2,600	2,000	2,000	2,000
欧州	1,900	3,400	3,400	3,400
新CF設備	-	-	-	2,700
計	8,200	9,100	9,100	11,800

米国供給能力: '06年、ラージトリ(年1,300トン)をレギュラートリ(年700トン)に転換

|||| TohoTenax |

11

. STEP FORWARD 2008 (2006 ~ 2008年)

TEIJIN

5. セグメント別計数目標(2008年)

(単位:億円)

	売上高			営業利益		
	2005年 (見通し)	2008年	成長率 (%)	2005年 (見通し)	2008年	増益額
炭素繊維	280	440	16	39	62	23
テキスタイル	68	70	1	5	2	7
その他	82	90	3	5	6	1
計	430	600	12	39	70	31

|||| TohoTenax |

12

## 6. 投入資源

(単位: 億円)

	中期計画		2005年 見通し
	3年間累計	3年間平均	
設備投資額	300	100	69
償却実施額	140	47	22
研究開発費	52	17	14

## 見通しに関する注意事項

当資料に記載されている内容は、種々の前提に基づいたものであり、記載された将来の計画数値、施策の実現を確約したり、保証するものではありません。